

Deep Powder!

奥飛騨 平湯～四ッ岳（2460mまで）山スキー

木下

【日時】 2008年2月16日（土）～17日（日）

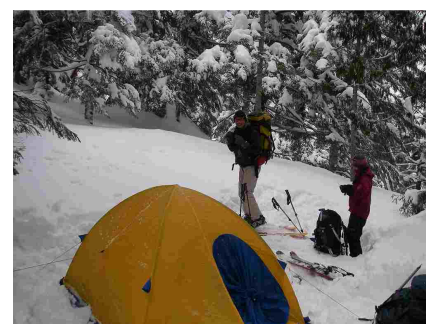
【メンバー】 L木下 藤本 田辺 大田原

5000m上空に-36℃の寒気が入ってくる予想、日本海側のエリアは大雪になりそうなのでまたまた平湯にやってきた。頂上はいけなかったけど、今年一番のDeep Powderを堪能しました。

2/16 小雪/風穏やか

すでに平湯キャンプ場には数台駐車しており、トレースが付いている。先行パーティは結構なラッセルと思う、斜面でスキーを履いてひざ上。感謝しつつ使わせてもらう。小さい沢から尾根に乗り、トラバース気味に進み、渡渉点へ。一箇所だけスキーを履いて渡れるポイントがあり、沢を渡って、2-3歩の急傾斜を階段登高して四ッ岳の北面台地に上がる。岳樺の疎林から針葉樹の森へと登り、1850m付近にBCを設ける。

身軽になって、さらに針葉樹の森を登る。今日は音もなく静かに雪が舞っている天気だが寒気が厳しく、樹林帯なのに思わず目出帽を被る。森林限界付近で滑ってきた先行パ



BCにて

ーティと擦れ違う、今朝は6時の出発だったとか、ラッセルの感謝を申し上げる。上部はガスの合間に岩峰が見え隠れする状態で頂上までは厳しそう、またパックした雪質に変わってくるのでここはPowderを楽しむことに専念する。

結構な深雪なのでスキーのトップが出せないと思わぬ前転となってしまうが、こんな雪まみれも悪くはない。歓声を上げつつ標高差600mを浮遊した。針葉樹の森は方向が決めにくく、最後はBCにぴったりとは到着できず、



滑降準備 OK

少し登り返した。あまりラインを限定してしまうと楽しく滑れないし、はめをはずすと痛い目に会うので加減が難しいところだ。BCで-13℃、薄っすら汗のかいた体がたちまち冷えてくる、テントに入って、いつものようにつまみを作り出すと0℃、天国のような暖かさ。

2/17 雪



利香さん

に下回った体感温度であろう。指の感覚がなくなりつつあったので本日もここまでとさせてもらい、滑降に移る。

昨日同様素晴らしいPowder Snow! 皆もこの深雪に慣れてきて顔まで吹き上げる雪を楽しんだのであります。

テントを撤収して下山を始めると、風が次第に強くなってきた。まあ、早めの下山で正解だったのだろうか。平湯のキャンプ場までも再びPowder Snowを堪能して終了。

「平湯の森」の湯船に浸かって、冷えた体を伸ばせば、極楽。

明け方、針葉樹の枝に積もった雪が落ちてきてテントを直撃、一部が寝ていた木下の脇腹に当たり、一瞬息が出来なくなった。柔らかい雪だったので大丈夫であったが、要注意である。少々手荒なWake up callであったが、今日も四ッ岳に向かって出発。昨日のトレースは所々消えている。森林限界まで登高するが、今日はさらに風が強く、寒気が厳しい。

手元の温度計で-18℃、風があるのでさら



藤本さん



木下

平湯エリアは東京からも近く、Powderを楽しめる、良いルートを提供してくれる。特にこの四ッ岳北面と猫岳第3尾根がお勧めです。

【地図】 乗鞍岳 焼岳



大田原さん